

1 境港市にあるウミライ堀田本社外観。環境を意識した緑あふれるオフィスだ 2 4 笑顔で接客するSSスタッフ。地域密着拠点としてSSは今後、幅広い展開が期待される 3 スケールメリットを生かした事業に注力するバックオフィスの安達さん(右)と橋本さん。部署の垣根を超えて経営資源の活用に動しむ 5 新会社の舵取りを担う堀田収社長

株式会社 ウミライ

15

LEADING COMPANY

エネルギーから可能性を広げ 地域と人の未来を創造する



スケールメリット生かし 新事業を多角的に展開

境港と松江を挟む中海圏域、そこから広がる日本海の青々しく広大な海、さらにそこで生活する人々の100年後の未来を創造していく企業でありたい。そんな想いを込めて命名された新会社「株式会社ウミライ」が2023年3月に始動した。創業100年を超える老舗エネルギー企業の堀田石油と、松江市を中心に11のサービスステーション(SS)を展開してきた松江石油が合併。各種エネルギーを通じた車や生活、経済活動のサポートから小売、住宅まで、暮らしを豊かにする多様な事業を展開する「ウミライ」へ

と続く新たな枠組みが生まれた。舵取りを担う堀田収代表取締役社長(66)は、「エネルギーを取り巻く環境が大きく変化し、事業の多角化、異業種化が求められる一方、我々には地域のライフラインを守るという使命もある。地域の未来を創造する会社であり続けたい」と抱負を語る。人口減少による石油需要縮小が現実味を帯びる中、SSネットワークの再構築も求められる。ウミライは今年8月、飯南町で廃止が決まった他社運営のSSを、地域のライン確保のために自社運営SSと統合。今後も地域のサービス供給を第一に、広い視野での拠点維持を図る。SSを地域密着拠点として活用する動きも進行中で、「松江八幡町S

S」は山陰で唯一「セブンイレブン」を併設している。堀田社長は、「既に実現している防災拠点のほか、宅配サービスやカーシェアリング、レンタカー、将来は水素ステーションなどさまざまな展開が考えられる。地域ごとに需要も違います。住民ニーズに寄り添った事業を進めていきたい」と語る。遊休地を活用した新事業にも積極的だ。賃貸住宅事業として、境港市と松江市に既に2棟完成し、さらに24年には松江駅前に10階建て40戸のマンションが完成する見通しだという。「地域経済の活性化のため、やることは何でもしますよ」。山陰のトップリーダーの一人として、堀田社長は強い意思を露わにする。



5



4



2



3



1

いま、あなたと未来を動かす
UMiRAi
 株式会社 ウミライ

株式会社 ウミライ

事業内容

石油製品販売、自動車関連事業、
 賃貸・住宅設備関連事業 など

創業 明治38 (1905) 年
 代表者 代表取締役 堀田 徹
 社員数 227名 (男166名 女61名)
 本社 鳥取県境港市弥生町206
 電話 0859-42-2155

採用エリア (勤務地)

米子市、境港市、松江市、出雲市、
 大田市、飯石郡、邑智郡

採用担当者からあなたへ

100年先の未来へ人と地域
 を導くエネルギーの総合商
 社です!地域を笑顔にしたい
 方、私たちと一緒に働き
 ませんか。入社後はSSでス
 タッフとして経験を積んで
 いただいた後、希望・適正を
 考慮の上、SS店長・ガス営
 業・法人顧客営業など、さま
 ざまな部門や職種へ進んで
 いただきます。



経営管理部総務部 係長
 藤原 佳加さん

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

0859-42-2155

採用直通 E-mail

recruit@umirai.co.jp

公式サイトは
 こちら



Xは
 こちら



動画サイトは
 こちら



暮らしに不可欠な車を日常的にケア
 お客様に頼られる存在に

山陰では暮らしに必要な不可欠な車。そんな車を
 日常的にケアしてくれているのが、地域のサービス
 ステーション(SS)だ。「給油されるお客様のタイヤ
 をチェックして、状態によっては交換を提案するこ
 とも。お客様や地域住民の命をも左右するので、
 丁寧にお伝えします」と川合さん。父親譲りの車
 好きが高じて車業界に足を踏み入れた。「人と話す
 のが苦手な方でしたが、我ながら随分上手になっ
 た気がします」。車に乗るのも、見るのも好きだ
 という今若さんは、アルバイトの経験で自身が接客
 に向いていると感じ、SSへ。アルバイトを経て正
 社員となり、危険物取扱者乙4を取得、現在は川
 合さんとともにコーティング技術2級を目指してい
 る。「整備の知識や技術も身に付けて、お客様や
 同僚から頼られる存在になりたい」

SSにはさまざまな職業や地域の人が訪れ、その
 理由も給油だけとは限らない。「空気圧やオイルを
 見てほしいと言われる人も。人の役に立っていると
 日々実感できるし、いろんな人と話せるのも楽し
 い」と磯邊さん。地域になくてはならない存在とし
 て、三者三様に活躍している。



SS販売部(左から)
 出雲市駅前SS 今若 香華さん(22)
 松江けやき通りSS 川合 辰嬉さん(23)
 御団地入口SS 磯邊 寛樹さん(22)



現場を後方支援するバックオフィスで
 経営資源の管理や生産性向上狙う

車や船舶の燃料から、LPガスや電力などのライ
 フエネルギー供給に加え、コンビニ経営や賃貸住
 宅など多彩な事業を手がけるウミライ。その業務
 の多くはエンドユーザーと直接関わって行われる
 が、バックオフィス業務を通して生産性向上や業務
 改善を狙うスタッフもいる。銀行員を経て現在、
 法人営業などを担当する安達さんは、他社SSに対
 し、コーティングや整備など燃料以外のサービスを
 提案。「グループのスケールメリットを生かしたセー
 ルスに力を入れています。他店でもウミライサー
 ビスを享受できる代行給油も積極的に進めている。
 一方の橋本さんは、営業実績管理から仕入れ、受
 注業務などまで販売部のバックボーンとして活躍す
 る。鳥取市出身で大学も県内。地域に貢献したい
 と考え、当社を選んだ。今夏は飯南町のSS統合も
 担当し、「今は合併後のあらゆるシステム統合に追
 われています」と汗をかく。燃料業界を取り巻く環
 境が変化中、2人が重視するのが、顧客の信
 頼とアイデンティティだ。「需要がなくなることはな
 い。経営体力を付け、ニーズに対応できる企業で
 ありたい」



経営管理部業務部 直売部直売課
 橋本 知明さん(33) 安達 雅史さん(38)
 2013年入社 2014年入社



活気に溢れるウミライの職場

きっかけは高校での航海実習。海技士の資格目指す

境港総合技術高校海洋科で一か月にわたる航海実習を2度経験し、海に関わる仕事
 に興味を持つようになった。現在は、漁船を始め、海上保安庁や水産庁の船、商船
 や貨物船など境港に入港した船への給油作業を担当。多い時は一日で12、3隻への
 給油を行うが、わずかな油断が油の漏洩などに結びつくこともあり、作業中は気を引
 き締める。一方で、「同年代の同僚が多く、雰囲気も良いので働きやすいです。海の
 仕事なのに、毎日自宅に帰れる点も気に入っています」と笑う。今秋に危険物取扱者
 乙種を取得、海技士の資格も目指している。「全国各地の船乗りさんと話す機会があ
 り、視野が広がります。もっと船や海の知識を増やしたい」



直売部 船舶課
 安部 幸希さん(18)
 2023年入社



コンビニエンスストアとSSのスタッフを兼任

入社後に危険物取扱者の資格を取り、SSのスタッフとコンビニエンス店舗スタッフ
 を兼任する。「当店は常連のお客様が多く、中には一日複数回来っていただく方も。両
 手で商品をお渡ししたり、弁当の上におしぼりを置いたりするなどちょっとした心配り
 を大事にしています」。一応シフトが決まっているとはいえ、混雑時やトラブル発生時
 には急な対応も求められる。「当初は、釣銭機の不具合などで急にスタンドから呼ば
 れた時など、仕事の優先順位が付けられなかったことも。今は、状況に応じて判断で
 きるようになりました」。心がけているのは、おもてなしの精神。小さな気遣いと丁寧
 な所作で、リピーターを増やしている。



SS販売部 松江八幡町SS
 長谷川 雄磨さん(32)
 2019年入社



暮らしの困りごとに幅広く対応

プロパンガスの保安・点検から、給湯機器やエアコンなどの住宅設備機器の提案や
 修理まで、暮らしの困りごとに幅広く対応するライフサポーター。「水漏れや電気工事
 なども担います。幅広い知識と経験が必要ですが、先輩方から現場で技術を教えて
 もらい、少しずつできることを増やしています」。最近力を入れている営業アイテム
 は、ガス衣類乾燥機「乾太くん」。ガスユーザーだけでなく、オール電化住宅にも足
 を運び、人気商品を動めている。高校卒業後約10年間所属した陸上自衛隊からの転
 身組。「接客を伴う営業職へのあこがれがあった」。鍛え抜いた忍耐力と体力を生かし
 つつ、管内を元気に走り回る。



商事部
 谷口 翔一さん(31)
 2021年入社



幅広いメーカーや種類の車を整備

20年弱の経験を持つベテラン整備士。近年は、電気自動車(EV)の普及が進み、
 「見たことも触ったこともないような車が増えた」と苦笑しつつ、「勉強するしかありま
 せん。車を通じて時代の変化を感じ取れるのは面白いですよ」と前向きな姿勢を見せ
 る。車検や修理、整備などで一日に関わる車の数は平均10台前後。「ディーラーと
 違って、いろんなメーカーの多彩な車種を扱うことができるので、幅広い知識と技術
 が身に付きます」。車の電子制御部分が増え、目に見えない故障をコンピューターで
 診断する方法も活用されているが、「最終的にはやはり経験です」と高田さん。週末
 は趣味のフットサルで汗を流す。



車検館
 高田 祐希さん(38)
 2022年入社

